

総合病院
水島協同病院
倉敷市水島南春日町1-1
代表 086-444-3211
外来 086-444-1222



日本医療機能評価機構
「信頼の病院」マーク
ISO9001 認証取得

水島協同病院 だより

No. 340
2022. 11月号



水協のホーム
ページもご覧
ください

<http://www.mizukyo.jp>

〔病院理念〕 いつでも、だれもが、安心してかけられる医療を追求します。

水島協同病院では無料・低額診療事業を行っています



手術前には可動域の確認や握力測定も行います(イメージ)

手術を受ける方は、手術そのものや術後の状態変化など、不安は大きくなりがちです。そんな患者さん一人ひとりが回復していくためにも、多職種で情報交換を綿密に行い、患者さんと伴走するように、これからもリハビリテーションを展開していきたいと思えます。
(リハビリテーション科 福田広史)

リハビリテーション科では、手術を受けられる患者さんに対し、手術の前や後で指導や訓練を行っています。

手術後はベッドで横になる時間が長くなることや肺炎などの合併症に加えて、体力低下を引き起こす可能性が高くなります。それらを予防するために、できるだけ早くか

ら離床に向けての回復行動が必要となります。リハビリテーションの介入内容は、手術後の離床がよりスムーズに進むよう手術前に、当院が作成したパンフレットを用いて呼吸法や動作の事前指導を中心に行います。

手術後は、患者さんの感じる痛みや気分不良などの症状、全身状態に合わせ、動作能力が極力落ち

ることのないように訓練を始めます。手術を受けられる方は、状態変化など、不安は大きくなりがちです。そんな患者さん一人ひとりが回復していくためにも、多職種で情報交換を綿密に行い、患者さんと伴走するように、これからもリハビリテーションを展開していきたいと思えます。

当院で早期離床のために取り入れている、手術を受ける前と受けた後のリハビリについてご紹介いたします。

特集
患者さん
一人ひとりにあった
リハビリのために



カメラ越しに、意見交換を行いました

当院では地域の病院と連携し、感染管理に関する学習会や感染対策についての情報共有を定期的に実施しています。9月2日のリモート形式での合同訓練には、10の医療機関が参加されました。

今回は新興感染症発生時の対応訓練をテーマに、3つの感染経路(接触・飛沫・空気感染)を想定したウィル

また当院では2020年より毎年、職員向けに訓練後には参加した医師や看護師から、着脱時の微生物曝露を防止するための注意点などの指導や情報共有があり、防護具の利用に関して、いつでも、だれが必要時にすぐ適切に着られて、脱けることが重要」と再確認しました。

て新型コロナウイルス感染症対応時の防護具着脱の訓練をしています。勉強を続けていくことで、患者さんと職員双方にとって、安心安全な医療環境を整えていきたいと思えます。(感染防止対策室 池上鮎美)

継続学習で
さらなる感染対策の質向上へ

感染対策における地域連携合同カンファレンスを開催しました。

スや細菌発生時に身に付ける防護具(キャップ・シールドマスク・手袋・ガウン)



見本の動画を見た後、実際にガウンを着用しました

小さなことでもコツコツと 自分たちの暮らしを みんなで守りませんか

9.8スタンディング行動

9月8日、「憲法改悪を許さない！スタンディング行動」(主催・9条つくな！水島の会)が開催され、職員や地域の人々、14名が参加しました。昼休みに当院前の交差点に集まった参加者たちは、「平和憲法を守ろう!」「安倍元首相の『国葬』は中止を!」と力強くアピールしました。参加した職員は、「医療・福祉の現場はたいへんです。『国葬』よりも、コロナ対策に大切な税金を使ってほしい」と話していました。(社保平和委員会 篠田壮志)



山本院長も参加しました